

令和6年 初春文楽公演 配役表  
1月3日(水)~1月22日(月) ※15日(月)は休演

<p>堀川猿廻しの段</p> <p>切 ツレ 清 清 呂 清 藤 鋳 太 方 蔵 夫 七</p> <p>團 南都太夫 久八 勘蔵 文字栄太夫 官左衛門 靖太夫 伝兵衛 睦太夫 四条河原の段</p>		<p>近頃河原の達引</p> <p>清 錦 寛 清 清 勝 薫 聖 碩 小住 咲 津 寿 允 吾 郎 丈 燿 平 夫 夫 夫 住 太 國 輪 太 太 太 太 太 太 太 太 太 太 太 太</p>		<p>七福神宝の入船</p> <p>清 錦 寛 清 清 勝 薫 聖 碩 小住 咲 津 寿 允 吾 郎 丈 燿 平 夫 夫 夫 住 太 國 輪 太 太 太 太 太 太 太 太 太 太 太 太</p>		<p>第1部 午前11時開演</p>	
<p>駕籠屋大ぜい 娘おしゅん 猿廻し与次郎 与次郎の母 稽古娘おつる 廻しの久八(玉) 井筒屋伝兵衛 仲買勘蔵 横淵官左衛門</p>		<p>毘沙門 恵比寿 福祿寿 弁財天 布袋 大黒天 寿老人 三輪太夫 津國太夫 咲寿太夫 小住太夫 碩太夫 聖太夫 薫太夫 勝平 清燿 清丈 清郎 錦吾 寛郎 清郎 清郎</p>		<p>大黒天 寿老人 三輪太夫 津國太夫 咲寿太夫 小住太夫 碩太夫 聖太夫 薫太夫 勝平 清燿 清丈 清郎 錦吾 寛郎 清郎 清郎</p>		<p>第1部 午前11時開演</p>	

※前半…1月3日(水) 後半…1月13日(土) 1月22日(月) 1月12日(金)

※演目の入れ替えはございません。

<p>竹の間の段</p> <p>芳穂太夫 錦糸</p>		<p>御殿の段</p> <p>切 千歳太夫 富助</p>		<p>政岡忠義の段</p> <p>呂勢太夫 清治</p>		<p>床下の段</p> <p>(小住太夫前 亘太夫後) 團吾</p>		<p>伽羅先代萩</p>		<p>第2部 午後2時30分開演</p>	
<p>八 沖の 汐玉 志 鶴喜代 井勘 彌 千松勘次 乳人政岡和生 小巻岡和生 忍び巻玉 栄御前 松ケ枝節之助(玉) 貝田勘解由(玉) 腰元大ぜい</p>		<p>八 沖の 汐玉 志 鶴喜代 井勘 彌 千松勘次 乳人政岡和生 小巻岡和生 忍び巻玉 栄御前 松ケ枝節之助(玉) 貝田勘解由(玉) 腰元大ぜい</p>		<p>八 沖の 汐玉 志 鶴喜代 井勘 彌 千松勘次 乳人政岡和生 小巻岡和生 忍び巻玉 栄御前 松ケ枝節之助(玉) 貝田勘解由(玉) 腰元大ぜい</p>		<p>八 沖の 汐玉 志 鶴喜代 井勘 彌 千松勘次 乳人政岡和生 小巻岡和生 忍び巻玉 栄御前 松ケ枝節之助(玉) 貝田勘解由(玉) 腰元大ぜい</p>		<p>伽羅先代萩</p>		<p>第2部 午後2時30分開演</p>	

<p>鬼界が島の段</p> <p>織太夫 燕三</p>		<p>伊達娘恋緋鹿子</p>		<p>八百屋内の段</p> <p>藤太夫 宗助</p>		<p>火の見櫓の段</p> <p>希太夫 亘太夫 碩太夫 聖太夫 薫太夫 織栄太夫 清志郎 清助郎 友助郎 燕二郎 藤之亮</p>		<p>平家女護島</p>		<p>第3部 午後5時30分開演</p>	
<p>俊寛僧都 平判官康頼(紋) 丹波少将成経 蛭千鳥 瀬尾太郎兼康 丹左衛門基康 雑色</p>		<p>小姓吉三郎 下女お杉 娘お七 親久兵衛 久兵衛女房 丁稚弥作(勘) 武左衛門衛 太左衛門 木戸番</p>		<p>小姓吉三郎 下女お杉 娘お七 親久兵衛 久兵衛女房 丁稚弥作(勘) 武左衛門衛 太左衛門 木戸番</p>		<p>小姓吉三郎 下女お杉 娘お七 親久兵衛 久兵衛女房 丁稚弥作(勘) 武左衛門衛 太左衛門 木戸番</p>		<p>平家女護島</p>		<p>第3部 午後5時30分開演</p>	